

笠原俊一君を推薦します。

葉山町議会議員笠原俊一後援会会長

葉山町長柄 伊藤 栄三

私と笠原俊一君との接点は思い起こせば48年前、私が東京より葉桜に移住して来た時からです。その時代の葉桜はまだ家も転々と少なく、お店もなく団地下の笠原商店に頼るしかありませんでした。その時はまだ彼は高校生で、真っ黒に日焼けした顔で家業の酒や日用品類の販売や配達を一生懸命お手伝いしていた好青年でした。

大学時代以降は地域の子どもたちに水泳や剣道などの指導をとおして、地域コミュニティ形成に必要なお兄さんでした。当時の葉桜の子どもたちは大変お世話になった事を思い出します。

その彼が平成3年町議会議員に初当選し、現在まで「汗を流し行動するのが原点」と活発な議員活動を継続し、温和で公平、面倒見の良い人柄、町民の声に耳を傾け、町政にももの申すその行動力は高く評価され、第一人者と云われております。

これからも町の将来を考えた時、明るく住み良い葉山の町を築いていってくれるだろう事を実感し、期待を持って見守り微力ではありますが、支援してゆく決意であります。

このような笠原俊一君に皆様の更なるご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

葉山町一色 永井 龍子

30年ほど前になりますが、葉山町商工会での町づくり委員会からお付き合いが始まり、色々な活動をご一緒しました。ラン展の開催も思い出ですが、逗葉新道沿いの花ひろばや、湘南国際村でのオリーブの植樹など、一緒に汗を流しました。町の植樹活動等、今後も俊ちゃんに期待し応援をしています。

皆様のご支援を得て平成3年初当選以来、町の皆様の声を町政に反映すべく「汗を流して行動する」を原点にして議会活動をさせていただいております。

すでに超高齢社会である町の施策は、まだまだ不十分です。医療施設の検討や余暇活動、文化・芸術など知識欲を満たす事業なども少ないと思いますし、気軽に運動する屋内施設など、今後も元気で笑顔の高齢者を増やすために先進地の事例を参考に提案してまいります。

商工業をはじめ農業や漁業、マリンスポーツ業など、地元産業の育成は住民生活にも直結しますが、来町者にとっても楽しみなものです。海や山の自然に触れ、地域の歴史に触れたり食を楽しみ買い物をしたりすることは観光の大きな要素にもなります。

ちょっとおしゃれで内外から憧れられている葉山。こうしたイメージが先行しています。葉山に住むすべての方が、この町を心から誇れるようにしていきたいと願っています。

また、町の自然・生活環境や安全性の向上、快適な暮らしぶりの向上は、人口維持につながります。こうした政策提案を今後も続けてまいります。

笠原 俊一

プロフィール

- ・昭和26年生まれA型ふたご座
- ・平成3年より6期連続当選
- ・神奈川県町村議会会長(平成20年度)
- ・葉山町第41代議長
- ・議会運営委員会委員長他、各委員長を歴任
- ・ふるさとひろば15、16代会長
- ・葉山町商工会第12代青年部部长
- ・南郷中学PTA役員(元)
- ・民生委員児童委員(元)
- ・葉山剣道会指導員 錬士6段
- ・全剣連居合道5段
- ・逗子葉山ライオンズクラブ会長(第41,47,48代)
- ・葉山町酒販組合長
- ・長柄・葉桜商店会副会長
- ・長柄町内会相談役

後援会会則

この会は主として次のようなことを行います。

1. 会員相互の親睦をはかるとともに、社会・文化活動並びにその啓発活動を行います。
2. 各地区との話し合いを主体にし、町発展の方策を研究し、実践活動を行います。

(規約より抜粋)

笠原俊一後援会事務局

葉山町長柄483

TEL 875-0474 FAX 875-0742

とともに参加するまちづくり

討議資料

町議会議員

笠原俊一

汗を流し行動すること、それが原点。

笠原俊一のはやま政策



ZAIKENの活動は、早稲田大学マニフェスト研究所の「第9回マニフェスト大賞」で優秀賞を受賞しました。



「暮らして良かった」と実感できる葉山へ
近隣自治体との連携を図り、財政の健全化、サービスの向上に努めます

地元産業の育成

商工業・農業・漁業・新マリン産業など町の産業育成の推進は観光事業や町民生活の向上・町の財政に貢献します。

高齢者支援

ご高齢の方が毎日を楽しみながら健康増進できるまちづくり。閉じこもり解消にオンデマンドバスを運行、安心して暮らせるための医療体制の整備など。

もっともっと
住み良い葉山
笑顔あふれる
まちづくり



子育て支援

人口減少を食い止め、若い世代が定住しやすい施策や子どもを産み・育てる環境の整備。笑顔で家庭生活と日々の暮らしを楽しめる環境整備。

安全と安心

防災協定の制定、避難タワーなど設備の増強、道路整備、救助部隊の機動力アップなど。災害への対策を早急かつ具体的に、県や近隣市とともに考える。

ごみ処理

近隣市とごみ処理についての総合研究促進、クリーンセンター解体・跡地への町有墓地移設と、セレモニーホールの建設提案。

葉山生まれの葉山育ち。汗を流し行動すること、それが原点。

みなさまの声を町政に反映させ、住み良い葉山を目指し続けます。

笠原俊一の提言と実践、そしてこれからの葉山について、つづきはWebサイトで! → <http://shunchan.jp>

